

【ペアレントサポートワークショップ開催中】

9/19 から全 5 回 参加者 7 名



今年度も 9 月より全 5 回のペアレントサポートワークショップを開催しています。千葉県発達障害者支援センターCAS の講師の先生が育休の為、講義部分は事前に撮影していただいた動画を活用して、びーんずスタッフがファシリテーターを務めてワークショップを進めています。

今年度は、年中から中学生の保護者が 7 名参加しています。2、3 回目のリピーターの方も参加しており、初めて参加の方々も積極的に取り組んでいます。

子どもが今できている「よい行動」をさらに増やしていくための工夫を参加者同士でヒントをもらったり、談笑しながらも楽しくワークショップ進行中です。

今後の活動予定

☆ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会 (茶話会はオンラインでの参加可)

11月10日(金) 12月11日(月) (R6.1月以降はHP参照)

LSF 作ろう会 10時~ 要予約 参加費 100円

茶話会 11時~ 要予約 参加費 100円 (オンライン参加は無料)

お申込みは Email からどうぞ。

☆第11回まつど発達支援フェア

R6年2月25日(日)

4年ぶりに、ふれあい22で開催します！(一部オンラインでの参加可)

詳しくは、別紙またはHPで、ご確認ください。



私たち **NPO 法人子ども育て・発達支援研究会** は、障害や不登校、引きこもりなどで、地域生活に困難のある子ども・若者に対し、福祉、教育、療育の視点を持った支援を行うとともに、その健全な発達支援活動を地域住民や地域団体に普及させ、公益の増進に寄与することを目的として、活動しています！

発行者：NPO 法人子ども育て・発達支援研究会 広報委員会

Add. …千葉県松戸市小金原 9-5-42 びーんず Labo

Email … kodomokosodate.matsudo@gmail.com

HP … <http://www.kodomokosodate-kenkyukai.org>



Jelly Beans News

発行日 2023年11月10日

第11号



ジェリー・ビーンズはアメリカ生まれのポップなお菓子。箱を開けると、カラフルなお豆たちが飛び出します。ひとつひとつ違うから、キラキラ光ってきれいなんです。



代表挨拶

猛暑の長い夏をやっと乗り越えたと思ったら、そろそろ11月。今年も残すところあとわずかです。当法人で毎年2回行っている「就学・進路相談会」も先日「進学編～中学校卒業後の進路選択～」が終わり、来年春に卒業を控えた子どもたちは、そろそろ「進路選択」が佳境に入ります。義務教育の間はある程度の枠組みの中で迷いますが、中学校卒業後の進路はとにかく選択肢が多いです。その中からその子に一番合った進路先を、と考えるのが親心、今まさに進路選択を目前にしたお子さんの親御さんは必死に情報を集めるし、当分先の方でも「来るべき時の為に今できることは無いか？」と真剣に相談会に参加されます。

この時期いつも思うことが3つあります。まずは「今の時代100%に限りなく近い子どもたちが高校を目指すので、もう高校は義務教育にしても良いのではないか？」。次に「中学3年って短いな、全員中高一貫で義務教育にすれば良いのでは？」。最後に「障害があっても無くても、18歳で一人前の社会人になるのは難しいなあ～」・・・と全て逃げ口上ですが、どの親御さんも同じ考えになったことがあるのではないのでしょうか？

卒業した学校を「母校」と言います。何故でしょうか？それは学校が児童・生徒を母親の様に無償の愛で守り育むからでしょうか？必ずしもそれだけではありません。子どもは生まれた瞬間からへその緒では無く自分の力で酸素を取り込み、そしてどんどんと成長していきます。そうして一旦生まれ落ちた子どもはどんなに未熟で小さくても、子宮に戻すことはできません。一旦卒業したら戻らない、だから「母校」なのだ、と聞いたことがあります。

母親の子宮から出て自分で呼吸をし、自分で栄養を取るようになる、人は生まれた時から自立に向け歩み始めるように、いずれは「母校」となる学校を自ら選ぶ事は将来の自立に向かう大きな一歩なんです。

親にできることは「急かさず、否定せず、引っ張らず」**応援すること**だけと高3の末っ子(受験生)と付き合いながら感じる日々です。

NPO 法人子ども育て・発達支援研究会

代表理事 富永 文子



【ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会】

4/10(月)、5/10(水)、6/9(金) 7/10(月)、8/10(木)、9/11(月) 参加者延べ37名



毎月10日に行っているライフサポートファイルを作ろう会&茶話会。新型コロナウイルスが5類になったことを受けて、今まで来所は5名までとしていた制限をやめました。そして茶話会では、コロナ前同様にお茶菓子もお出しするようにしました。

前期で初めてこの会に参加してくれた方は、以前参加したお友達に誘われて来てくださったり、事業所でもらったチラシを見て来てくださったりしました。放課後等デイサービスや児童発達支援施設で支援員をされている方も参加されました。そして、今まで何度もこの会に参加してくれた方が、遠方にお引越しが決まり、引っ越し前に参加してくださいました。引っ越しと聞いた時、スタッフは皆寂しい思いでしたが、コロナ禍を経て、びーんずではオンラインでも茶話会が開催できるようになりました。遠くへいっても繋がる事ができます。その方とも、またZOOMの茶話会でおしゃべりしようねと約束することができました。

この会ではライフサポートファイルを作成するお手伝いと、同じような悩みを持つ保護者が情報交換やおしゃべりができる場として、今後も活動を続けていきます。

ライフサポートファイルを作ろう会に参加して/主催して

松戸市内 児童発達支援・放課後等デイサービス 指導員

私どもの事業所では、定期的に「ライフサポートファイルをつくろう会」に参加させていただいております。その中で、お子さまたちの長い人生を伴走するツールとしての「ライフサポートファイル」の大切さを知ることができ、「情報をひとつにまとめておくこと」の重要性に気づかされました。また、茶話会では様々な保護者さまのお話を聞くことができ、私たちが直接かかわる期間は短いものであっても、その後の人生にもつながる大切な日々と一緒に過ごさせていただいているのだと、気が引き締まる思いがしております。

私たちの事業所では今年度、就学を控えた年長児の保護者さまを中心に、「つくろう会」を2回開催いたしました。また、保護者会を通して「小学校、放課後等デイサービス、放課後児童クラブ(学童保育)との連携にもライフサポートファイルが有用であること」をお伝えしています。参加された保護者さまからは、「必要性は分かっているがなかなか作り始められず、よいきっかけとなった」等嬉しいお言葉を頂いております。今後も、家族支援・地域支援の一環として開催して参りたいと思います。

【令和5年度就学・進路相談会】

毎年行っている子どもの就学や進路に不安をかかえる保護者の方や支援者の方が、今後の具体的な選択肢を知ることができるように、各方面の助言者をお呼びしての相談会です。今年度からは、ふれあい22研修室で開催したので直接会場に参加ができ、またオンラインでも参加ができるようにしました。

第1回 義務教育編 7月3日(月) 会場参加者19名 オンライン参加者43名

特別支援学校に子どもが通う保護者が、就学前の体験やその当時の母の気持ちを具体的にお話していただきました。続いて松戸市教育委員会学校教育部学習指導課の先生から、松戸市の特別支援教育の説明と就学相談の流れについて、そして千葉県立矢切特別支援学校の先生から、学校紹介と地域に向けた教育相談、就学相談のお話をしていただきました。そして参加者から申し込み時にあった質問一つ一つに、助言者の先生が丁寧に回答してくださいました。最後にびーんずの相談員が、放課後や長期休みに利用できるサービスの紹介をしました。

～参加者の感想～

・昨年参加し今年も参加しました。昨年に比べ、少しですが我が子の将来について想像できるようになりました。実際の経験談や事例があると想像しやすいので保護者のお話はとても頭に入りやすかったです。また「学校」のことだけではなく、放課後の過ごし方についてまでお話していただけるのは、とてもありがたかったです。



第2回 進学編～中学卒業後の進路～ 10月5日(木) 会場参加者17名 オンライン参加者33名

発達支援室びーんず相談支援専門員、自由の森学園高等学校にお子さん二人を通わせた保護者、千葉県立特別支援学校流山高等学園、つくば開成高等学校(私立通信制高校)の各先生方に、各学校の紹介、子どもが進路選択する際の親の心構えについてお話していただきました。中学卒業後、そしてその先の将来について考えることのできる内容となりました。

～参加者の感想～

- ・zoom参加可能だったので、仕事の都合が付けやすく参加することができありがたかったです。息子は小学校1年生でまだ早いかな?と思いつつ、色々な話を伺う事ができたので参加してよかったと思います。
- ・前回の時よりも、より具体的な話を聞くことができ、参加してよかったです。「人間力」の大切さを改めて知り、これからどう子どもと向き合っていくべきか、考えさせられました。
- ・不登校の息子の進学先があるか不安でしたが、何かしら道はあると分かり、安心しました。ありがとうございました。

